



平成30年11月20日
保育園夢未来錦糸町園

ほけんだより



冬が近づいてきて、肌寒くなりましたね。保育園ではアデノウイルスによる結膜炎が発生したり、熱でお休みをしたりする子が見られるようになりました。これからは感染症が流行する季節に入ります。うがい・手洗いの予防と、早めの受診と休息をとるようにし、栄養のあるものを食べて体力の回復に努めましょう。

“インフルエンザの予防接種について”

※赤ちゃんの接種は？

生後6ヶ月を過ぎたらインフルエンザの予防接種を受ける事は、囑託医の先生も推奨しています。赤ちゃんは接種をしても免疫を付ける事が難しく、効果が出づらいとはいえ、打たないよりは可能性ががあります。インフルエンザにかかる可能性は誰にでもあり、子どもとお年寄りでは重症化しやすく、また、子どもが自発的に発症させる病気ではないという事を頭に入れ、積極的に接種を受けましょう。

※2回目は必要？

子どもは大人より免疫力が低いので、2回打って効果を上げます。1回打った時の10倍の効果があるとも言われています。

※卵アレルギーがある場合は？

ワクチンには極微量の卵製品が含まれています。接種前にアレルギーの有無を医師に伝え判断を仰ぎましょう。重度のアレルギーでなければ大丈夫と言われていますが、皮内テストを行っている病院で検査をしてから受けるとよいでしょう。

12月の0歳児の検診は、
12月20日(木) 11:00～
です。(全クラス身体測定を
行います。)

咽頭結膜炎(プール熱)と流行性角結膜炎(はやり目)の 違いを見比べてみましょう!

【咽頭結膜炎(プール熱)】

- 高熱を伴い、喉が痛くなる。
- 充血、目やに。

※呼吸器系の症状が特徴

【流行性角結膜炎(はやり目)】

- 熱はそれほど高くはない。
 - 目がまぶしい。
 - 目やにが多く出る。
- ※目の症状が特徴で感染力が強い。



囑託医の先生から…

賛育会病院ではアデノウイルスによる流行性角結膜炎の患者さんが見られます。インフルエンザの患者さんも少しでてきました。どれもあっという間に広がりますので、手洗い・うがいをきちんと行い、体調を崩した時には早めの受診をお願いします。

